

DYNAC

BUSINESS REPORT

株式会社ダイナック 株主通信

第70期 決算報告書

平成25年1月1日～平成25年12月31日

NEW SHOP INFORMATION

新規出店、業態シフトを加速 受託ビジネスの業容拡大も着々と

FOCUS

人材パワーを最大化 「現場力」の向上に全力

証券コード2675

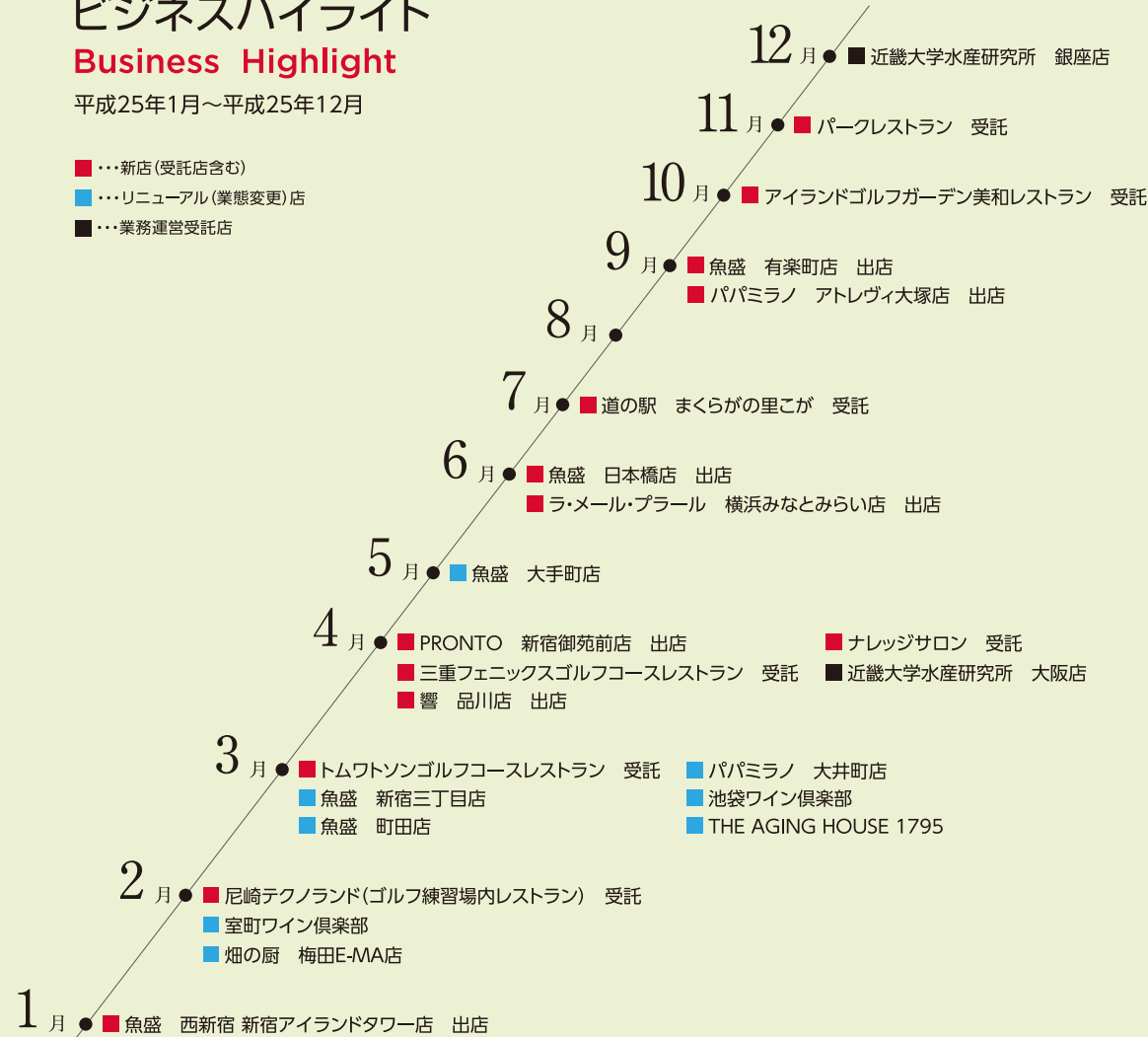


ビジネスハイライト

Business Highlight

平成25年1月～平成25年12月

- …新店(受託店含む)
- …リニューアル(業態変更)店
- …業務運営受託店



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当社第70期事業年度(平成25年1月1日～平成25年12月31日)における事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当期の外食業界におきましては、円安による原材料価格の上昇やエネルギー料金の値上げなど、業界を取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。こうした中、当社は「お客様の感動満足にもとづく会社の成長」と中期的な成長戦略の実現に向けた「事業ポートフォリオの思い切った見直し」、「基盤となる機能・サービスの革新」及び「人材パワーの最大化」に取り組むとともに、「食の安心・安全」の追求と商品・サービスの提供価値を高めてまいりました。

当期における出店等は、海鮮酒場「魚盛」、カフェ&バー「PRONTO」、ダイナミックキッチン&バー「響」、カジュアルフレンチレストラン「ラ・メール・プラーレ」、道の駅の指定管理者として茨城県最大級の「道の駅 まくらがの里こが」、ピッツァ&パスタ「パパミラノ」、ゴルフ場レストラン及び公共施設レストランなどの計14店舗を新規出店するとともに、近畿大学と連携した日本初の大学直営の専門料理店「近畿大学水産研究所」の2店舗の業務運営を受託しました。また、既存店舗を「魚盛」、「ワイン倶楽部」、「THE AGING HOUSE 1795」の戦略業態へ変更するなど計8店舗をリニューアルする一方、不採算店舗や契約先の事由により11店舗を閉店し、当期末における店舗数は244店舗となりました。

業績につきましては、売上面では「倶楽部ダイナック」会員様を対象とした全社統一による販売促進活動、「だい丸」ブランドによる「夏ギフト」、「おせち」の販売などにより、売上高は33,702百万円(前期比1.3%増)となりました。また、利益面では、店舗管理費などの一層のコスト最適化を進め、経常利益は711百万円(前期比14.9%増)となりました。

当社は、引き続き「お客様の感動満足にもとづく会社の成長」と中期的な成長戦略の実現に向けて、事業構造の改革、機能・サービスの革新及び筋肉質な組織への再構築を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層の力強いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



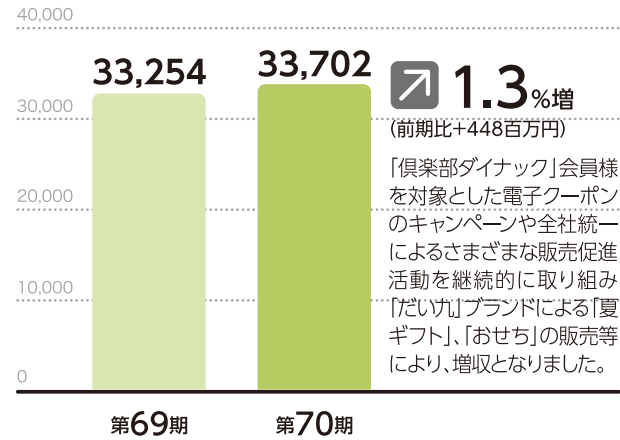
平成26年3月

代表取締役社長

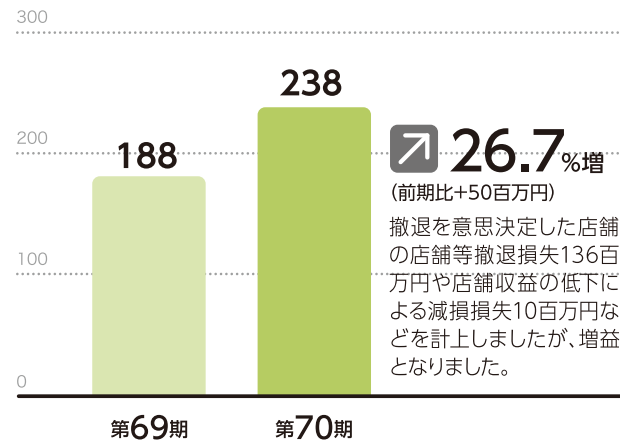
若杉和正

財務ハイライト

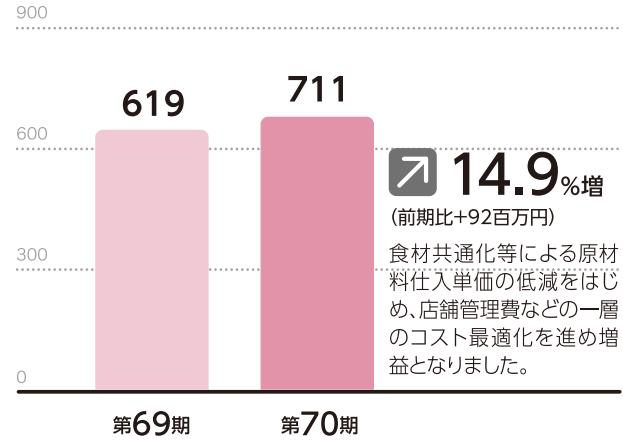
売上高 (百万円)



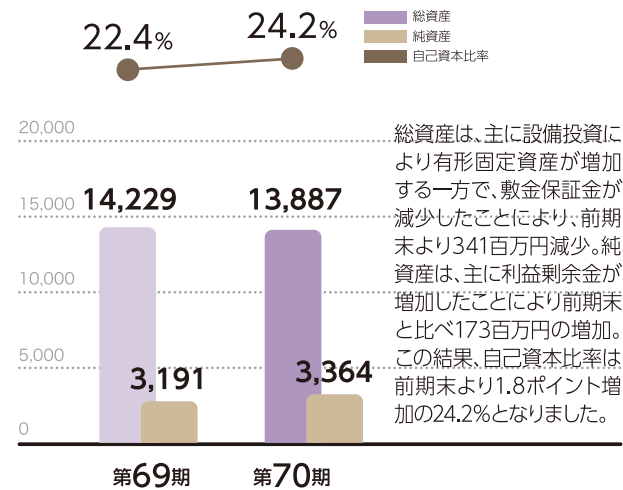
当期純利益 (百万円)



経常利益 (%表示は対前年同期増減率) (百万円)

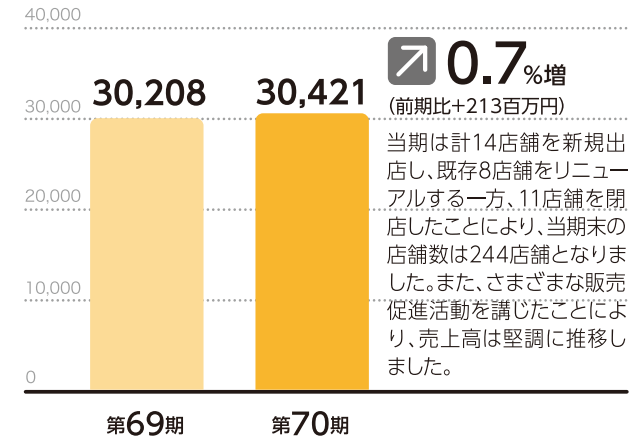


総資産／純資産／自己資本比率 (百万円)

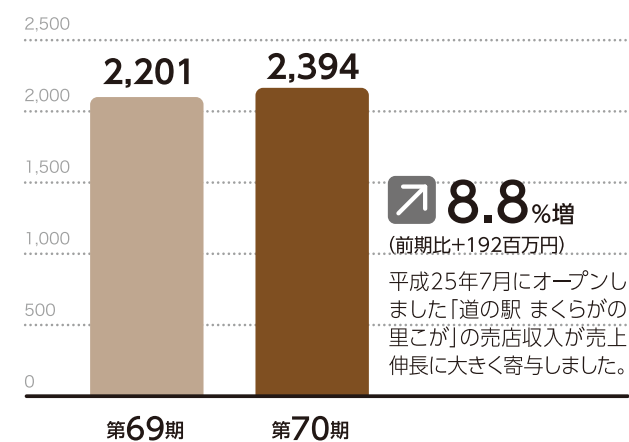


第70期 経営成績(形態別売上)

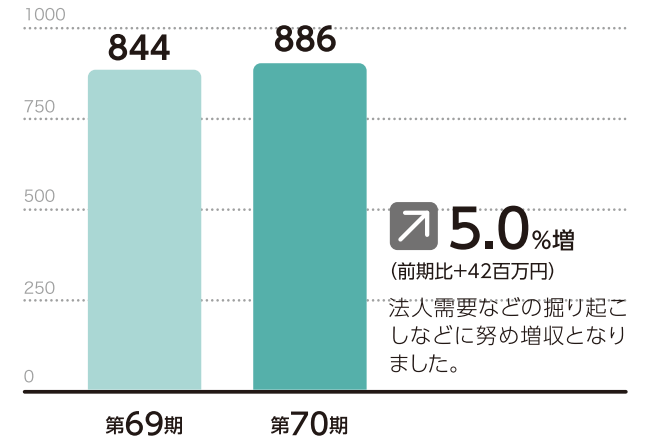
レストラン・バー (百万円)



その他 (百万円)



ケータリング (%表示は対前年同期増減率) (百万円)



次期の見通し

外食業界におきましては、消費税増税を控える中で生活防衛意識は変わらず、また出店競争や業界再編など、依然として厳しい経営環境が予測されます。このような環境の下、当社は引き続き「お客様の感動満足にもとづく会社の成長」と中期的な成長戦略の実現に向けて、経営資源の最適配分を図る事業構造の改革、事業基盤となる機能・サービスの革新及び筋肉質な組織への再構築を行うとともに、食に対する安心・安全の追求、基本の徹底、企業理念の実践を続けてまいります。また、新業態を含む出店と既存店のリニューアルを推し進め、多様化するお客様のニーズへの対応力の強化及び販売力の向上、収益の拡大に努めてまいります。

次期の業績につきましては、売上高は35,800百万円(前期比6.2%増)、経常利益は1,100百万円(前期比54.5%増)、当期純利益は400百万円(前期比67.7%増)を見込んでおります。

新規出店、業態シフトを加速 受託ビジネスの業容拡大も着々と

当期は、好調な「魚盛」、フラッグシップブランド「響」、海外レストラン「ラ・メール・プラール」とのライセンス契約等による新規出店を強化し、既存の好立地店を「ワイン倶楽部」、「THE AGING HOUSE 1795」等の付加価値の高い戦略ブランドへの業態シフトを加速させました。また、茨城県最大級の「道の駅 まくらがの里こが」の指定管理受託、近畿大学と連携した「近畿大学水産研究所」の業務運営受託など受託ビジネスの業容の拡大・強化に努めました。

魚盛 有楽町店

NEW OPEN 2013.9.2

東京・有楽町

新鮮魚介が安い! 海鮮酒場が早くも9店舗目

漁場直送の新鮮魚介が思う存分に楽しめる海鮮酒場「魚盛」明るく活気に溢れる店内には生け簀を置き、すくい揚げた活魚を使った豪快なメニューが売りです。男性ビジネスマンを中心に、普段使いの店として支持されています。

日本橋店 NEW OPEN 2013.6.10 西新宿 新宿アイランドタワー店 NEW OPEN 2013.1.15
新宿三丁目店 RENEWAL OPEN 2013.3.1 町田店 RENEWAL OPEN 2013.3.7 大手町店 RENEWAL OPEN 2013.5.10



響 品川店

NEW OPEN 2013.4.25

東京・品川

玄界灘直送鮮魚とワインで
国際都市・品川という
新たな市場を開拓

品川駅から徒歩1分に11店舗目の「響」がオープンしました。全184席、12の個室。玄界灘直送の鮮魚と豊富なワインで、大切な方と洗練された時間をお過ごしください。



ラ・メール・プラール 横浜みなとみらい店

NEW OPEN 2013.6.21

神奈川・横浜

横浜の newName
ふわふわオムレツが
有名なランチカジュアル

世界遺産の仏・モンサンミッシェルで125年の歴史を誇る有名レストラン。本店の雰囲気大切に店内でお楽しみいただくセレブご用達の「ふわふわオムレツ」は、横浜みなとみらいの新しい名物になっています。



THE AGING HOUSE 1795

RENEWAL OPEN 2013.3.21

大阪・堂島

オリジナルミントジュレップと
旨みを凝縮させた熟成肉を楽しむ
ジンビームのフラッグシップ店

世界No.1の販売量を誇るバーボンジンビームのクールな楽しみ方を発信するフラッグシップ店。店名は、熟成(エイジング)を経て生まれるバーボンとビーム社が創業した年から付けました。9種類のミントジュレップなど、さまざまな飲み方でバーボンをお楽しみいただけます。



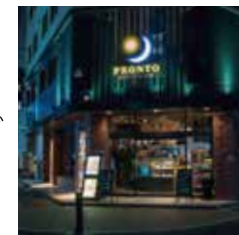
PRONTO 新宿御苑前店

NEW OPEN 2013.4.1

東京・新宿

時間帯に合った使い方が
楽しめるカフェ&バー

朝～昼はカフェに。夜はダイニングバーとして、気軽にお立ち寄りいただけるイタリアンバー。



室町ワイン倶楽部

RENEWAL OPEN 2013.2.1

東京・日本橋

かぶ飲みワインと
タパス料理が美味しい
飾らないイタリアンバー
がぶがぶワインが飲めて、タパスがお腹いっぱい味わえて、そして、ちょっぴりオシャレ。使い勝手のいいカジュアルなワインと料理のお店です。



池袋ワイン倶楽部

RENEWAL OPEN 2013.3.11

東京・池袋

ワインと相性抜群な
タパス料理とピッツアを
リーズナブルにご提案

高温で焼き上げるナポリピッツアとワインにぴったりのタパス料理を豊富にご用意。親しい仲間とワイワイ楽しむ、飾らないワイン酒場です。



パパミラノ アトレヴィ大塚店

NEW OPEN 2013.9.12

東京・大塚

本格ピッツアが楽しめる
駅ビルの中のイタリアン
ナポリ風ピッツアともちもち食感の生
パスタが魅力。自家製ドルチェも充実。

大井町店 RENEWAL OPEN 2013.3.8



道の駅 まくらがの里 こが

NEW OPEN 2013.7.7

茨城・古河

茨城県最大級「道の駅」をプロデュース
地元の皆さんと古河市の魅力を発信

当社が培った経験を活かし、地元取引
先参加型道の駅をプロデュースしまし
た。木の温もりを感じる施設内には
市場、土産物処、お茶屋、カフェ、フー
ドコートが設けられ、地元の皆さんと
古河市の魅力を発信しています。



まくらがの里こが
道の駅 michinoeki makuraganosato koga



近畿大学水産研究所 銀座店

NEW OPEN 2013.12.4

東京・銀座

近大マグロと紀州の恵みを集めた
話題のお店が早くも東京に進出

世界初の完全養殖クロマグロが
食べられると、たちまち評判にな
った「近畿大学水産研究所」。大阪
店に続いて2号店が銀座にオー
プンしました。



大阪店 NEW OPEN 2013.4.26



パークレストラン

NEW OPEN 2013.11.1

東京・北の丸公園

ビュッフェ&ケータリングサービス
科学技術館の中の
和みのレストラン



ナレッジサロン

NEW OPEN 2013.4.26

大阪・グランフロント大阪

さまざまな分野を超えた
出会いと交流の
会員制サロン

KNOWLEDGE
CAPITAL



NEWOPEN

GOLF

- 尼崎テクノランド(ゴルフ練習場内レストラン) Open 2013.2.1 兵庫・尼崎
- トムワトソンゴルフコースレストラン Open 2013.3.18 宮崎・宮崎
- 三重フェニックスゴルフコースレストラン Open 2013.4.2 三重・松阪
- アイランドゴルフガーデン美和レストラン Open 2013.10.1 山口・岩国



FOCUS

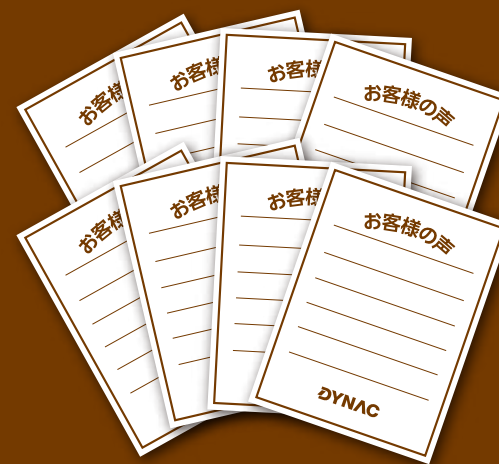
人材パワーを最大化 「現場力」の向上に全力

当社には日々お客様との接点を担っているパートナーは、いま全業態の店舗で約5,000名います。彼らこそが当社の強みの源泉であり、一人ひとりの力を発揮させることで、売上に直結する現場力やオペレーション力の向上がもたらされます。そのため、ここ数年は基本に立ち返ってパートナーにフォーカスし、能力をフルに発揮してもらうための取り組みを重点的に推進しています。さまざまな施策は徐々に実を結びつつあり、客単価アップやお客様満足度の向上、お客様の再来店につながっています。



「VOC活動」で直接集めた お客様の声を商品・サービスの レベルアップに活用

経営の答えは、常にお客様にあります。飲食業も例外ではありません。そこで基本に立ち戻り、3年前からお客様の声を聞く「VOC(Voice of Customer)活動」を本格的に取り組んでいます。これは、来店されたお客様の声、反応、評価をパートナーや社員が直接何って紙に書き留め、これを業態ごとに集めて全店舗で共有するもので、商品やサービスのレベルアップにつながっています。店側が気づかなかった指摘が多く、貴重な情報として役立てています。また、お客様から本部に寄せられた手紙やメールも各店舗に回送され、ご指摘事項の速やかな改善に取り組んでいます。



社内コンテストでモチベーション向上 トップランナーが育ち、人材の裾野が拡大

調理スタッフ、パーテンダー、ホール係を対象とした全社を挙げた社内コンテストも数多く開催しており、1年間、出場を目標にして毎日の仕事に励むパートナーが少なくありません。最大規模の接客コンテスト「D1グランプリ」は、エントリーから予選、最終予選を経て5カ月かけて決勝戦を開くもので、外部からも審査員を招いて厳正に行っています。年々参加人数は増え、昨年は256名の応募がありました。社内コンテストは、異なる業態で働く仲間のサービスや技術を吸収してレベルを高めること、さらに、仕事への思いを共有することで従業員の感動満足度を高める絶好の機会になっています。その成果として昨年には日本一のサーバーを選ぶ「S1サーバーグランプリ」全国大会に社員が出場するなど、順調にトップランナーが育ってきており、人材の裾野が広がってきています。

ダイナック4大社内コンテスト

- D1グランプリ (サービスコンテスト)
決勝戦は7月ごろ 年1回開催
- カクテルコンペティション
決勝戦は6月ごろ 年1回開催
- 商品開発コンテスト
決勝戦は9月ごろ 年1回開催
- 感動体験白書コンクール
表彰は1月ごろ 年1回開催



テーマに沿ったメニューの開発と調理技術を競う「商品開発コンテスト」



おもてなし力やサジェスト力など接客技術を競う「D1グランプリ」



パーテンダーの技と立ち居振る舞いを競う「カクテルコンペティション」

ダイナックマインドの醸成 パートナー集合教育を必須化

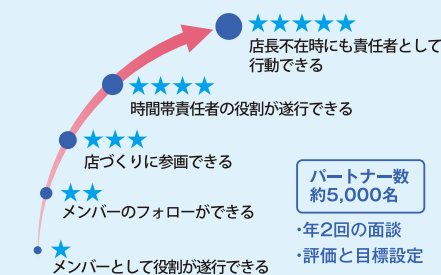


昨年1月からは新たに、1講座当たり3時間かけて行う「新人パートナー集合教育」を開始しました。これには2つのテーマがあり、ひとつは企業理念です。ダイナックがどういう理念のもとに生まれた会社なのか、目指すべき方向はどこかなどを教えます。もうひとつが業務の中で守るべき安心・安全・衛生のルールで、順守することの重要性を理解してもらいます。日ごろ店舗では教えられないことが少ない内容ということもあり、受講者の多くが「なぜそうすべきなのか」という理由を聞いて、ルールの大切さが分かった」「グループワークでいろいろな考えや思いを聞き、自分の考えが広がった」といった感想を述べています。パートナーは毎年半分が入れ替わりますが、その都度実施し、必須化を目指しています。

「パートナー育成評価システム」を導入

お客様が店に求めるサービスは、年々高くなっています。それに応えていくためには、パートナーの個を強化する必要があります。当社では採用したスタッフを優良な人材へと育成するため、昨年2月からファイブスター制度でスキルランクを明確にした「パートナー育成評価システム」を導入しました。これは、意欲ある人に上を目指してもらうために、仕事の内容と目的を明確にして公平に時給をリンクさせるものです。パートナーとは面談で評価理由を伝えるとともに、本人の考えていることや不満点を聞き出すことで理解を深め、モチベーションアップにつなげています。

ファイブスター制度 (パートナー育成評価システム)



財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当期	前期	科 目	当期	前期
	(平成25年12月31日現在)	(平成24年12月31日現在)		(平成25年12月31日現在)	(平成24年12月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	3,168	3,299	流動負債	6,769	6,201
現金及び預金	468	397	買掛金	2,392	2,296
売掛金	1,923	1,814	短期借入金	500	1,250
たな卸資産	264	238	一年以内返済予定の長期借入金	1,070	20
その他	525	863	未払費用	1,962	1,837
貸倒引当金	△ 12	△ 14	未払法人税等	161	141
固定資産	10,718	10,929	その他	683	655
有形固定資産	4,723	4,582	固定負債	3,753	4,837
建物	4,179	4,120	長期借入金	1,710	2,780
その他	544	462	退職給付引当金	1,223	1,179
無形固定資産	100	104	役員退職慰労引当金	43	73
投資その他の資産	5,895	6,242	資産除去債務	750	715
敷金及び保証金	5,002	5,354	その他	26	88
その他	1,240	1,335	負債合計	10,522	11,038
貸倒引当金	△ 347	△ 447	(純資産の部)		
資産合計	13,887	14,229	株主資本	3,358	3,190
			純資産合計	3,364	3,191
			負債・純資産合計	13,887	14,229

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	(自平成25年1月1日 至平成25年12月31日)	(自平成24年1月1日 至平成24年12月31日)
売上高	33,702	33,254
売上原価	29,538	29,357
売上総利益	4,164	3,896
販売費及び一般管理費	3,432	3,289
営業利益	732	606
営業外収益	20	63
営業外費用	40	51
経常利益	711	619
特別利益	0	5
特別損失	193	182
税引前当期純利益	518	442
法人税、住民税及び事業税	145	125
法人税等調整額	134	128
当期純利益	238	188

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当期	前期
	(自平成25年1月1日 至平成25年12月31日)	(自平成24年1月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,377	1,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△840	△905
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	70	99
現金及び現金同等物の期首残高	397	298
現金及び現金同等物の期末残高	468	397

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 第70期

(自平成25年1月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金		繰越利益剰 余金			その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
			利益準備金	その他利益 剰余金						
平成25年1月1日 残高	1,741	965	179	304	483	△ 0	3,190	1	1	3,191
事業年度中の変動額										
剰余金の配当				△70	△70		△70			△70
当期純利益				238	238		238			238
自己株式の取得						△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動(純額)								5	5	5
事業年度中の変動額合計	—	—	—	168	168	△ 0	168	5	5	173
平成25年12月31日 残高	1,741	965	179	472	651	△ 0	3,358	6	6	3,364

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

会社概要 Corporate Data

(平成25年12月31日現在)

商号	株式会社ダイナック
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目8番1号
設立年月	昭和33年3月
資本金	17億4,162万円
店舗数	244店舗
決算期	12月31日(年1回)
社員数	934
事業内容	各種業態の飲食店の経営及び受託

役員 (平成26年3月25日現在)	
代表取締役社長	若杉 和正
常務取締役	田中 政明
取締役	大和田 雄三
取締役	米倉 通浩
常勤監査役	別所 栄一
監査役	三宅 修平
監査役	小松 美喜男

株式の状況 Stock Information

(平成25年12月31日現在)

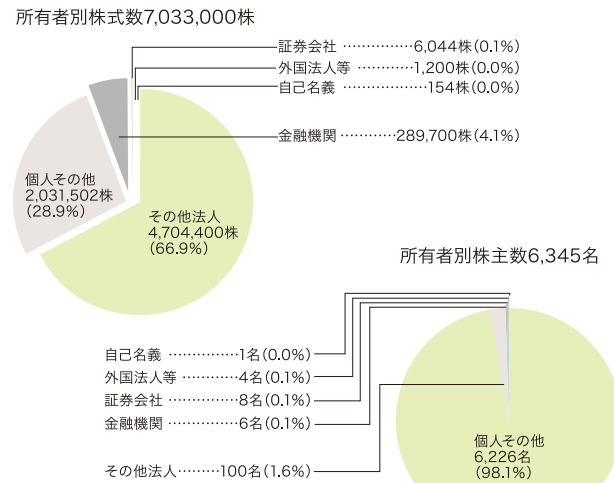
株式の総数及び株主数

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数(単元株式数100株)	7,033,000株
株主数	6,345名

大株主

株主名	所有株数	持株比率
サントリーホールディングス株式会社	4,340,000株	61.7%
ダイナック従業員持株会	232,000	3.3
鴻池運輸株式会社	150,000	2.1
日本生命保険相互会社	108,500	1.5
株式会社三井住友銀行	60,000	0.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	0.9
株式会社佐々木	47,500	0.7
三井住友信託銀行株式会社	40,000	0.6
三井住友海上火災保険株式会社	20,000	0.3
株式会社マキシム	13,000	0.2

所有者別の株式数と株主数



株主優待制度のお知らせ Information For Shareholders

ダイナックでは、株主様の日頃からのご支援とご愛顧に感謝を込めまして、株主優待制度を設けております。この優待制度は、当社の事業活動に触れていただく機会をご提供させていただくことで、当社をよりご理解いただくことを目的としたものです。今後とも、株主様との対話を通じた親密な関係を築いてまいりたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



■株主優待の方法

毎年6月30日及び12月31日現在の株主様に対し、年2回、以下の基準により株主優待お食事券を贈呈いたします。

(1)贈呈基準

- ①所有株式100株以上500株未満 : 株主優待お食事券 2千円(1,000円券 2枚)
 - ②所有株式500株以上1,000株未満: 株主優待お食事券 6千円(1,000円券 6枚)
 - ③所有株式1,000株以上(一律) : 株主優待お食事券 12千円(1,000円券12枚)
- ※お食事券をご希望されない株主様には、全ての株主優待お食事券をご返送いただいた場合上記贈呈基準に応じて①2kg ②5kg ③10kgのお米(コシヒカリ)と交換いたします。

(2)利用方法

当社が経営する店舗(贈呈者には一覧表にて別途通知)においてご飲食の際使用できます。

(3)有効期間

発行日より1年間

(4)送付時期

6月30日現在の株主様……………9月下旬頃
12月31日現在の株主様……………翌年3月下旬頃

株主メモ Shareholders' Memo

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会: 12月31日 期末配当金: 12月31日 中間配当金: 6月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	当社のホームページ(http://www.dynac.co.jp)にて電子公告により行います。ただし、電子公告を行うことができない事故やその他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎0120-782-031
[インターネットホームページURL]	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にご連絡をお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出には、上記の電話照会先までご連絡をお願いします。

オフィシャルサイトをリニューアルしました。

<http://www.dynac.co.jp>

株主様や投資家の皆様に、当社の事業活動についてご理解を賜るべく、ホームページに「投資家の皆様へ」のサイトを設けております。

また、次々にオープンする新店舗の情報や

各店舗のお得なイベント情報など

「美味しい情報」をタイムリーに提供しております。



Click

Web
Renewal!!



DYNAC

株式会社ダイナック

<http://www.dynac.co.jp>

お問い合わせは下記までご連絡下さい

株式会社ダイナック 法務・総務部

〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目8番1号

TEL.03-3341-4216 FAX.03-3352-4915